

第158回 創薬科学セミナー

GTR/CIBoG seminar



日時：2022年11月8日（火曜日）14:00～15:30

場所：創薬科学研究館 講義室 Zoomを並行実施

川畑 俊一郎 先生

九州大学大学院 理学研究院・教授

LPSを足場としたセリンプロテアーゼ前駆体の活性化型遷移状態を介した自己触媒的活性化の分子機構

血液凝固系に代表される複数の酵素前駆体からなる活性化の連鎖反応では、最上流の前駆体の活性化は前駆体どうしの分子間相互作用を介する自己触媒的活性化で説明される。しかし、その概念を支える分子機構の実態は推測の域を出ていない。本講演では、グラム陰性菌のリポ多糖(LPS)を反応の足場として自己触媒的活性化を引き起こすカプトガニ体液凝固系のセリンプロテアーゼ前駆体を取り上げ、自己触媒的活性化を解説頂く。

このセミナーは創薬科学研究科・先端薬科学特論の単位認定となります。



聴講を希望される方は講義室に来られる予定の方も必ず、11月4日(金)12:00までに左側のQRコード or 下のリンクよりご登録下さい。セミナー前日までにZoom URLをご連絡します。

新型コロナの感染状況によってはオンラインのみとなります

PDFファイルの方は
[ここをクリックして登録してください](#)

連絡先：細胞生化学分野 人見清隆 hitomi@ps.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学大学院 創薬科学研究科 基盤創薬学専攻

Department of Basic Medicinal Sciences, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya University